

8 体 操 競 技

(兼 第60回四国一般体操競技選手権大会)

(兼 第1回四国トランポリン競技選手権大会)

1 主 管 四国体操協会・愛媛県体操協会

2 期 日 体 操 競 技 2019年7月13日(土)・14日(日)
 新体操女子 2019年7月30日(火)・31日(水)
 トランポリン 2019年7月27日(土)・28日(日)

3 会 場 (会場名・住所・電話番号)

体操競技 愛媛県総合運動公園体育館
 愛媛県松山市上野乙46
 TEL 089-963-3211

新体操女子 愛媛県総合運動公園体育館
 愛媛県松山市上野乙46
 TEL 089-963-3211

トランポリン 鬼北総合公園体育館
 愛媛県北宇和郡鬼北町大字永野市1290番地1
 TEL 0895-45-3956

4 種別(種目)及び参加人員

種 別	種 目	監督	選 手	参加県	小 計	合 計	本大会枠
成年男子	競 技	1	7 (2)	4	32 (8)	184 (48)	1
成年女子	競 技	1	7 (2)	4	32 (8)		1
少年男子	競 技	1	7 (2)	4	32 (8)		2
少年女子	競 技	1	7 (2)	4	32 (8)		2
少年女子	新体操	1	7 (2)	4	32 (8)		2
男子	トランポリン	1	2 (1)	4	12 (4)		1
女子	トランポリン	1	2 (1)	4	12 (4)		1

※トランポリンの監督は両種別を兼務することができる。

※()は補欠

5 日 程 (開閉会式・監督会議・組合せ抽選会・競技開始時間)

〈体操競技〉

日 程	時 間	項 目	会 場
7月13日(土)	10:00~11:00	監督・審判会議	会 議 室
	11:15~11:25	開 会 式	体 育 館
	11:30~13:10	会 場 練 習	
	13:10~17:25	少年競技・成年練習	
7月14日(日)	8:30~10:30	会 場 練 習	体 育 館
	10:30~14:10	成 年 競 技	
	15:30~16:00	閉 会 式	

〈新体操〉

日 程	時 間	項 目	会 場
7月30日(火)	12:30~15:30	会 場 練 習	大アリーナ
	15:30~17:00	監督・審判会議	会 議 室
	17:00~17:20	開 会 式	大アリーナ
7月31日(水)	9:00~10:50	会 場 練 習	大アリーナ
	11:00~14:00	競 技	
	15:00~15:30	閉 会 式	

〈トランポリン〉

日 程	時 間	項 目	会 場
7月27日(土)	13:00~15:00	会 場 練 習	アリーナ
7月28日(日)	9:00~10:00	監督・審判会議	アリーナ
	10:00~10:20	開 会 式	
	10:30~11:00	男 子 競 技	
	11:10~11:40	女 子 競 技	
	12:00~12:30	閉 会 式	

※監督・審判会議の会場は変更する場合があります。

※競技の詳細なタイムテーブルについては、参加人数が確定後、調整して連絡します。

6 競技上の規定及び方法

(1) 競技規則

公益財団法人日本体操協会制定の競技規則による。但し四国体操協会申し合わせ事項も含む。

(2) 体操競技の競技方法

ア 各種別ともに団体競技は、各県ごとに1チーム7名(内補欠2名)で団体を編成し、演技者は5名とする(5-5-4方式)。ただし、成年は補欠が個人と兼ねることができる。

イ 成年(団体総合競技)

男子は、ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の6種目の自由演技を行う。成績順位は、6種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

女子は、跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目の自由演技を行う。成績順位は、4種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

なお、成年男女の詳細な適用ルールについては、別途、公益財団法人日本体操協会から都道府県に通達する。

ウ 少年(団体総合競技)

男子は、ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒の6種目の自由演技を行う。成績順位は、6種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

女子は、跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆかの4種目の自由演技を行う。成績順位は、4種目の各種目ベスト4の得点総合計によって決定する。

なお、成年男女の詳細な適用ルールについては、別途、公益財団法人日本体操協会から都道府県に通達する。

エ 国体予選において同点が生じた場合、国体競技規則に準じて通過順位を決定する。

オ 一般選手権は個人総合及び種目別を競うものとする。

カ ウレタンマットの使用について(四国体操協会申し合わせ事項)

成年、少年とも男子：つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒、女子：跳馬、段違い平行棒、平均台において、鉄棒は2枚、その他の種目は1枚まで減点なしでウレタンマットを使用するこ

とを認める。ただし、演技中に場所の移動は認めない。

(3) 新体操の競技方法

ア 適用ルールについては、別途、公益財団法人日本体操協会から都道府県に通達する。

イ 競技内容 団体競技 ※当該年の全国高校総体で採用された種目と同一とする。

個人競技(フープ・ボール・クラブ・リボン)

成績順位は以下の合計得点によって決定する。

団体競技の得点及び個人競技の得点(4種目4演技×1/4)の合計。

ウ 団体競技は、各県ごとに1チーム7名(うち補欠2名)で団体を編成し、演技者は5名とする。

エ 個人競技は、団体演技者5名のうちから4名だけが出場できる。

(4) トランポリンの競技方法(男女共通)

ア 競技内容

男女とも成年・少年はそれぞれ共通とし、個人競技で行う。

第1自由演技と第2自由演技を行い、2つの合計得点により成績順位を決定する。

イ 第1自由演技について

演技得点(Eスコア)＋跳躍時間点(Tスコア)＋移動減点(Hスコア)の3つの合計得点が第1自由演技得点となる。

なお、Tスコアはストップウォッチで計測する。

【特別要求】

演技は10種目の異なった種目で構成し、「前方の270度以上の宙返り」と「後方の270度以上の宙返り」をそれぞれ1回以上行わなければならない。これらの要求種目が欠如した場合は、合計得点から2.0の減点がなされる。

(注)「よつんばい落ち」と「膝落ち」は実施種目には認められず、これを実施した時点で演技は中断となる。

ウ 第2自由演技について

10種目を自由に構成し、演技得点(Eスコア)＋難度点(Dスコア)＋跳躍時間点(Tスコア)＋移動減点(Hスコア)の4つの合計が第2自由演技得点となる。

なお、Tスコアはストップウォッチで計測する。

7 参加資格・所属県及び選手の年齢基準

第74回国民体育大会総則5に定めるほか、次による。

少年(競技)及びトランポリンに参加できる選手には、2004年4月2日～2005年4月1日までの間に生れた中学3年生を含むものとする。

また、競技種別などを重複して出場することはできない。

なお、監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認体操コーチ3(体操競技・新体操・トランポリン)、または、公認体操コーチ4(体操競技・新体操)のいずれかの資格を有する者であること。

8 表彰

(1) 少年男女は総合成績上位3位までの県(チーム)に表彰状を授与する。

(2) 成年男女は団体3位まで及び四国一般体操競技選手権として個人総合6位までと種目別3位までに表彰状を授与する。

(3) トランポリン男女は合計得点上位2位までに表彰状を授与する。

9 参加申込み方法

- (1) 所定の Web ページ(国民体育大会参加申込み受付窓口)へアクセスし、必要事項を入力の上、所属の各県体育(スポーツ)協会を通じて、期日までに申込み手続きを完了すること。締切期限以降は、所定の Web ページ(国民体育大会参加申込み受付窓口)へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (2) 申込期限：2019年6月28日(金) 17時 必着
- (3) 参加料：参加料を下記口座あてに振り込むこと。※振込手数料はご負担ください。
少年1チーム4,000円、成年1チーム4,500円、個人1,000円
＜振込口座＞ 伊予銀行本店営業部 普通預金 4511794
愛媛県体操協会 会計 小池 哲

10 宿泊申込

- (1) 別途送付する宿泊申込書に必要事項を記入し、各県体操協会で一括して申し込むこと。
- (2) 申込期限：2019年6月28日(金) 17時 必着
- (3) 宿泊日：(体操競技) 7月13日(土)
(新体操) 7月30日(火)
(トランポリン) 7月27日(土)
- (4) 宿泊料：1泊2食 8,910円(税込)
- (5) 申込先：(株)近畿日本ツーリスト中国四国 松山支店 担当 広嶋
〒790-0003 松山市三番町4-9-5
TEL 089-941-4533 FAX 089-933-6277

11 その他

- (1) 審判依頼：四国体操協会内規により、各県下記により派遣下さい。
(審判員の弁当は主催者が用意します。)
体操競技 男子各県3名、女子各県2名
※女子審判はD1とD2はE1とE2を兼ねる。
新体操 女子各県4名
トランポリン 各県3名
- (2) 背番号：体操競技の背番号は次のとおりとする。(男子は黒字・女子は赤字)
徳島県 1～99 高知県 100～199
愛媛県 200～299 香川県 300～399
- (3) チームリーダー：体操競技はチームリーダーをつけることが望ましい。
- (4) 体操競技の補欠は2名まで、トランポリンの補欠は1名を別途申込書にて申し込むこと。
- (5) 要項にない事項については第74回国民体育大会実施要項に準ずるものとする。
- (6) 国体参加者傷害補償制度に加入すること。